

症例報告を書く著者のための執筆アウトライン (CASE REPORT WRITING OUTLINE FOR AUTHORS)

一般的な注意事項 すべての患者データが匿名化されていることを確認し、必要に応じて、倫理委員会または施設内審査委員会からの承認を得ていることを確認する。

タイトル (Title) タイトルに「症例報告」 (case report) という文言を含める。最も関心のある現象を記述する。患者の状態 (presentation)、診断名 (diagnosis)、検査結果 (test result)、介入 (intervention)、アウトカム (outcome) のいずれでもよい。

抄録 (Abstract) 関連があれば、以下の情報を約 200 語でまとめる。(1) 本症例を報告する論拠 (rationale)、(2) 患者の問題点 (concerns) の提示 (主訴、症状、診断など)、(3) 介入 (診断的、予防的、予後、治療の変更など)、(4) アウトカム、(5) 本症例報告から学ぶべき主な教訓。

キーワード (Key Words) 読者が本症例報告を検索して見つけやすくするために、2~5 個のキーワードを提示する。

はじめに (Introduction) 本症例報告の背景 (background) と文脈 (context) を簡潔にまとめる。

問題点の提示 (Presenting Concerns) 患者の特性 (関連する人口統計学的な特性一年齢、性別、人種、職業など) と、患者の問題点について、関連する過去の介入の詳細とともに記述する。

臨床所見 (Clinical Findings) 以下の項目を記述する。(1) 病歴 (medical history)、家族歴 (family history)、心理社会的背景 (psycho-social history)、生活習慣および遺伝情報を含む、(2) その他の関連する併存疾患 (co-morbidities) および介入 (セルフケアを含む他の治療)、(3) 重要な所見に焦点をあてた身体所見 (physical examination)。

タイムライン (Timeline) 特定の日付と時間を含むタイムラインを表 (table)、図 (figure)、グラフ (graphic) として作成する。

診断の焦点と評価 (Diagnostic Focus and Assessment) 以下の評価を提示する。(1) 診断方法 (diagnostic methods) (臨床検査、画像検査の結果、質問票、紹介状の診断情報を含む)、(2) 診断上の課題 (diagnostic challenges) (評価する能力の限界、患者の都合、文化的な課題など)、(3) 考慮された他の診断を含む診断推論 (diagnostic reasoning)、(4) あてはまる場合は予後の特性 (prognostic characteristics) (がんの病期分類など)。

治療の焦点と評価 (Therapeutic Focus and Assessment) 以下の項目を記述する。(1) 介入の種類 (薬理的、外科的、予防的、生活習慣、セルフケアなど)、(2) 実施した介入とその強度 (intensity) (用量、力価、期間、頻度を含む)。

フォローアップとアウトカム (Follow-up and Outcomes) 本症例の臨床経過（すべてのフォローアップ診察を含む）と、以下の項目を記述する。(1) 介入内容の変更、中断、中止およびその理由、(2) 介入へのアドヒアランス (adherence) とその評価方法、(3) 有害事象 (adverse effects) または予期せぬ事象。以下の項目を記述する。(1) 患者報告アウトカム (patient-reported outcomes)、(2) 臨床家 (clinician) が評価し、報告したアウトカム、(3) 重要な陽性 (positive)、陰性 (negative) の検査結果。

考察 (Discussion) 症例マネジメントを含む本症例の強み (strengths) と限界 (limitations)、および本症例に関連する科学・医学論文を記述する。考えられる要因や本症例の一般化可能性など、あなたの結論 (conclusions) に対する論拠を考察する。最後に、本症例報告の主な知見は何か、伝えたいメッセージは何かを記述する。

患者の見解 (Patient Perspective) 適切な場合はいつでも、本症例報告または付随した内容に患者のケアの体験をナラティブ (narrative) として記述するべきである。

インフォームドコンセント (Informed Consent) 本症例報告の公表について、患者からインフォームドコンセントを得たことを確認する。